

## K2・バルトロ氷河トレッキング 活動記録(8月28日～9月12日)

8月28日(日)曇り/晴れ

早朝、小雨がぱらついたが出発の時には止んでおり、滞向日明けの快調なスタートを切る。2ピッチ目ですぐにバルトロ氷河の舌端に到達。巨大な氷の塊の下から濁流が轟音を立てて流れ出していた。氷河の上は一面ガレ場で、氷の上を歩いているという実感は湧かない。3度目の休憩はネームレスタワー、トランゴタワー、グレートトランゴを眺めながらの休憩となった。リリゴにて昼食。午後の1ピッチ目で氷河湖跡に出る。あたり一面真っ白な砂地だった。16時前に宿泊地コブルツェに到着。

8月29日(月)晴れ

今日はいつもより1時間遅い8時出発。これまで延々とガレ場を歩いてきたが、南側から合流する氷河上に出ると、暫く氷のトレースとなった。氷の表面はギザギザでアイゼンは不要だった。さらに進むと、GIV、ニュークリスタルタワーを臨むことができ、程なく宿泊地ウルドゥカスの緑が見えてきた。ウルドゥカスには11:30到着。到着後の昼食となった。午後は丸々空いているので、各自散策や洗濯をして過ごした。

8月30日(火)晴れ

7:13 出発。ポーターの墓の横を通ってウルドゥカスを出る。1ピッチ目で一行はトレースに沿って旧道へ進んでしまうが、ポーターの指摘ですぐに引き返し正しい道へ。最初の休憩地点からはGI、GII、GIV、ブロードピークが見えた。ブロードピークの大きさには圧巻だった。11時頃、氷河川沿いの足場の悪い斜面を進んでいると、荷物を積んだ馬が足を滑らせ氷河川に落ちる。自力で対岸に上がったが、足を負傷していた。ゴレ1にて昼食。遠くウルドゥカスピークで雪崩が起きていた。午後の2ピッチ目で中馬氏が足を滑らせて転倒し、手を負傷。他にも3名ほど足を滑らせていた。16時過ぎ、宿泊地ゴレ2到着。辺り一面ガレ場で、ここまでくると樹木は育たず、水場も無かった。

8月31日(水)晴れ

明け方の気温は-5℃まで下がっていた。出発して暫くは、トレースの石は凍結した路面に固定されていて滑ることは無かった。7:30頃、ムスターグタワーの写真を撮るために休憩をとる。さらに進むとクリスタルタワー、ニュークリスタルタワー、マーブルピークが並んで見えた。13時頃、コンコルディア到着。広々としたコンコルディアは、360°を6000～8000m級の山々に囲まれており、K2を始め、ブロードピークやGIVなどを一望することができた。現役三人はカンさんの指導の下、近くの氷壁でアイスクライミングを体験した。

#### 9月1日（木）快晴

コンコルディア滞在日。明け方は-8~-7℃まで下がっていた。朝日を浴びて輝くK2が眩しい。今日は体調が良い人はブロードピークBC手前をピストンする。9時に出発し、11時前に標高約4700m地点に到達。雲ひとつ無い青空がどこまでも続き、目の前にK2が悠然と聳えていた。ここで休憩をとりテントサイトへ引き返した。

#### 9月2日（金）快晴

ゴンドコロ峠を越える高田・柿原以外は今日から復路を歩く。高田（広）氏と三田隊長が出発の際に握手を交わした。今日も快晴で、観光用のヘリが何往復もしていた。ゴレ2で昼食。午後最初の休憩でATSの他パーティーに会い、吉田氏は落としたパスポートを受け取った。15時頃、宿泊地ゴレ1に到着。

#### 9月3日（土）快晴

7時出発。氷河上の川は水面が凍っていて、さらにその上を朝日で溶け出した水が流れていた。12時頃、OBウルドゥカス到着。

#### 9月4日（日）晴れ

今日からは普段より1時間早い6時出発。リリゴ付近でイギリス人女性が滑落し、手当てを受けていた。数時間後、軍のヘリで病院へと搬送された。リリゴから1時間ほど歩いた所で昼食。14時頃、OB到着。40分後に出発し、18:20、OBパイユ到着。

#### 9月5日（月）晴れ

6時出発。3ピッチ目からは皆暑さに悩まされた。午前は5ピッチ歩き、11:20に昼食。アミールさんが川岸で拾った氷を砕いて入れたジュースが出された。12:10、再び炎天下を歩き始める。午後は3ピッチで宿泊地ジョラに到着。

#### 9月6日（火）快晴

6時出発。2度目の休憩でパキスタン人トレッカー（軍関係者か？）と写真撮影。3度目の休憩はコラフォンにて。水と緑に溢れ、さながらオアシスだった。さらに2ピッチ歩き昼食。午後は2ピッチ歩いたところでアスコレに達した。集落の手前で最後の休憩を取り、皆無事に歩ききったことを喜び合った。14:40頃アスコレ到着。

#### 9月7日（水）快晴

7時朝食だったが、いつもの癖で多くのメンバーは早々と目を覚ましていた。ジープに荷物を積み、8:40頃出発。宿泊地チュトロンへと向かう。ジープ道を進んでいくと

間もなく、土砂崩れにより道が崩れていた。ドライバー、スタッフ総出で改修作業に当たった。およそ 2 時間後、ジープが通れるようになった。12 時過ぎにアポアリゴンで昼食。午後、途中で砂嵐に巻き込まれ、一瞬辺りが暗くなった。14 時頃ダッソーを通過し、15:15 チュトロン到着。宿泊客用の大理石の風呂と、地元の人が使う石造りの風呂があったが、どちらも薄汚れた感じだった。とは言うものの、皆 温泉で汗を流し、長旅の疲れを取ると満足気だった。食堂テントにて夕食。

#### 9月8日(木)曇り

朝食も山中と同じように食堂テントでとった。再びジープに荷物を積み、8:30 出発。曇り空だったので移動には快適だった。12 時過ぎスカルドの NSE(NAZIR SZBIR EXPEDITIONS)事務所に到着し、ゴンドコロ峠を無事に越えた高田・柿原両氏と合流。昼食は一年前に出来たと言う近くのレストランでとった。食後、再び NSE に戻り、お世話になったスタッフと握手を交わし、全員で集合写真を撮った。その後、NSE を出発し、宿泊先のシャングリラ リゾート ホテルへ。14:50 に到着。宿泊する建物の前には湖が広がっており、白鳥が闊歩する長閑な場所だった。湖上のレストランにて夕食。

#### 9月9日(金)曇り

朝食を済ませ、各自 出発まで自由に過ごした。9:30 頃マイクロバスに乗り飛行場へと向かった。しかし、飛行機は飛ばないとのことだった。ということで、陸路でイスラマバードへ行くことに。正午頃、山間の路上でトラック 2 台とトラクター 1 台が同じ場所で故障し行く手を塞いでいた。暫くしてトラクターが 3 輪で走り去り、その場を通過することが出来た。13 時頃、昼食。16 時過ぎに KKH(Karakoram Highway)に入る。しばらく進み、ヒマラヤ山脈・カラコロム山脈・ヒンズークシ山脈が交わる地点(JUNCTION POINT OH THREE MIGHTIEST MOUNTAIN RANGES OF THE WORLD)へ立ち寄った。17 時前、ジャクローの町を通過。18:45 頃、チラス到着。

#### 9月10日(土)曇り/晴れ

夜明け前、雷が鳴り響き、朝食までに何度か停電した。チラスを出発した後、最初にサーティアールの遺跡 岩絵を見た。9 時頃に休憩を取りミルクティーを飲む。正午頃、ベシャムにて昼食。13:40 頃タコット橋を渡り、インダス川の見納めとなった。14 時過ぎの休憩では青々とした田園風景を見渡すことが出来た。19:30 頃、パールコンチネンタルホテル到着。夕食後、三田隊長の部屋で打ち上げ(?)

#### 9月11日(日)晴れ

10 時から OB は遺跡見物。現役 3 人はイスラマバードのバザールやラワルピンディ駅を見て回った。19 時にホテルで夕食をとり、食後 空港へと向かった。空港の入り口

は人が溢れかえっており、アミールさん・カンさんとのお別れもほどほどに、慌しく空港へ入っていった。21:50 搭乗開始。10 時間以上かけて成田へ。

9 月 12 日（月）晴れ

成田到着後、関東組は帰路に着き、柿原・高田は関東滞在。残る福岡組は成田山へお参りに行き、蕎麦を食べて成田へ戻った。19:30 頃に搭乗して、21:40 頃 福岡空港到着。